学校番号	４０１

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新　社会と情報　新訂版　（実教出版）						
副教材等	パーフェクトガイド情報　Office2016 対応　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機器（情報端末機器）に対して、理解を深め、正しい使い方を身につける。
・自らの考えや他人の考えをプレゼンテーション等を通じ理解し、コミュニケーションをとる手段としての利用ができるようにする。

２　学習の到達目標

・コンピュータを使った文書作成や表計算などを習得する。
・パワーポイントを使ったプレゼンテーションができるようにする。
・現代社会の情報機器に関する問題点などを把握し理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・授業に興味を持って参加しようとしているか。 ・2 進数・10 進数・16 進数の相互変換に対して興味を持って取り組んでいるか。 ・プレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで積極的に関わっているか。 ・表計算ソフトのデータ入力・データの抽出や関数の利用に意欲的に取り組んでいるか。 ・積極的に演習課題を行っているか。	・授業に興味を持って参加しようとしているか。 ・2 進数・10 進数・16 進数を用いて情報量を適切に表現できるか。 ・プレゼンテーションのテーマは適切か。 ・ストーリーがしっかり構成されているか。 ・計画的に制作を進めているか。 ・評価の視点に沿って問題点を指摘しているか。 ・適切な改善策や評価の視点をあげているか。	・個人情報を管理する技能があるか。 ・電子メールや掲示板の書き込みを正しく行う技能があるか。 ・2 進数・10 進数・16 進数の相互変換ができるか。 ・図やグラフなどを使用して，わかりやすく表現できるか。 ・表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ，関数を利用できるか。 ・表計算ソフトを利用し，条件に合うデータの検索ができるか。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を理解している。 ・2 進数・10 進数・16 進数の相互変換の方法を理解しているか。 ・プレゼンテーション制作の流れと各段階のポインの理解しと画像，音声などのメディアを利用する方法を理解しているか。 ・目的に応じて数値の変化や割合などを表現する知識があるか。 ・条件に合わせて関数を選択して利用するための知識があるか。

評価方法	学習状況の観察 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価	学習状況の観察 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価	学習状況の観察 課題作品 レポート、発表 相互評価・自己評価	学習状況の観察 レポート、発表 相互評価・自己評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報社会と私たち	オリエンテーション 情報社会	 ○	 ○	○ 	○ ○	a:コンピュータの仕組みに興味を持ち、積極的に取り込もうとしているか。 b: モラルとマナーについてまなぼうとしているか。 c:文書作成ができるか d:コンピュータの仕組みについて理解ができているか	授業観察 実習作品 レポート
	情報機器とディジタル表現	ディジタル表現 表現と伝達(表現の工夫)	○ ○	○ 	○ ○	○ 	a: 情報機器の種類と特徴，インタフェースについての理解 b:自分の思ったことをコンピュータを使ってあらわせるか c:ワードの利用や進数の変換ができるか d: コンピュータの仕組みについて理解ができているか	授業観察 実習作品 レポート
2	表現と伝達	プレゼンテーション	○	○	○	○	a:自分の身の回りにあることへの改善とアイデアを考える b: 自分の身の回りにあることへの改善とアイデアを考える c:パワーポイントを利用して考えを表現できる d:パワーポイントを利用できるか	授業観察 実習作品 発表 相互評価 自己評価

2	情報社会と問題解決	情報システムと人間	○	○	○	○	a: 問題解決の過程を理解 b: 問題解決のための手段の選択について考える c: アンケートの回答方法について理解する d: 実際に問題解決を行うことによって，問題の明確化，情報の収集・整理・分析の技術が身についたか	授業観察 レポート 発表 自己評価
3	表現と伝達	表計算ソフトの利用	○	○	○	○	a: 表計算ソフトへのデータ入力について実習で学ぶ b:関数の利用の仕方を考える c: 表計算を利用してデータの並べ替えができるようにする d: SUM, IF などの関数を利用してデータの統計や，条件のある計算や検索用関数（VLOOKUP 関数等）を利用して，条件に合ったデータの検索について実習で学ぶ	授業観察 実習作品 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。